

## 湧く湧く

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

## わくわく体験塾の「入塾式」が行われました。

町内の義務教育学校4～6年生を対象に、地域の特性を生かした様々な体験を行う「わくわく体験塾」が4月19日に入塾式を行い、塾生22名（全塾生33名）が文化センターさざ波に集まりました。

式では、主催者である教育委員会社会教育課の西海谷課長から「元気な挨拶をしましょう」「仲間を大切にしましょう」「自分から進んで行動しましょう」とエールをいただきました。

石塚塾長から1年間の活動について説明があり、その後塾生の自己紹介がありました。いろいろな学校から集まった子どもたちの中には初対面の子も多くいましたが、みんな学校名や名前、好きな食べ物や、誕生日、趣味や推しなどを楽しく話してくれました。



明日の元気は、きょうのスポーツからみんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

## ◎わくわくゆうふいっと。～No.1～

運動指導職員の三浦です！4月から新しい運動・トレーニング教室「ゆうふいっと。」、5月から「ゆうふいっと。プラス」が始まりました。今後は、これまでの「ちょいトレ」から、2カ月に1回「ゆうふいっと。」「ゆうふいっと。プラス」の活動内容を報告させていただきます。



- 「ゆうふいっと。」は、月に3回運動教室を開催しており、参加者一人一人のカルテを作成し、皆さんに「Fit」した運動メニューを提供する他、体の状態や、運動の成果を確認できる体組成計を利用して、運動の効果を数字で確認します。  
※体組成計とは、体重の他、体脂肪率や筋肉量などを数値化できる機器のことです。
- 「ゆうふいっと。プラス」は、月1回夜間の部として、(株)スポーツクラブPHYSIT（フィジット）の西田隼人トレーナーによる運動強度を上げたトレーニングを行うことができます。

## 4月のゆうふいっと。はこんなことをしました！

- \*4月3日 第1回目は、体力測定を行い29名が参加しました。また、体組成計を利用して、自分の体を数値化し、1年間の運動目標を立てました。
- \*4月10日 9名が参加し、前回の運動目標をもとに、トレーニング機器を使用したトレーニングを行いました。「ゆうふいっと。」では、それぞれに合ったトレーニング機器の選定、トレーニング機器の使用方法についてもご説明します。

今後の予定は、随時ホームページにてお知らせします。  
皆さんに「Fit」した運動・トレーニングをご紹介しますので、ぜひ、友達を誘ってお越しくください。



ホームページ



運動指導職員 三浦 茉歌

明日の元気は、きょうのスポーツからみんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

# ～第40回サロマ湖100kmウルトラマラソンは6月29日(日)に開催!～

本年度で40回目の開催を迎える「第40回サロマ湖100kmウルトラマラソン」が、6月29日(日)に開催されます。全国各地から3,000名を超えるランナーが100km先の北見市常呂町ゴールを目指して駆け抜けます。記念すべきこの大会を盛り上げるべく、沿道での温かいご声援をぜひ、お願いいたします。



大会開催に伴い、交通規制など、町民の皆様には何かとご不便をおかけしますが、円滑な大会運営へのご理解とご協力をよろしく申し上げます。

※交通規制の詳細については、後日、かわらばんと町ホームページでお知らせいたします。



ホームページ

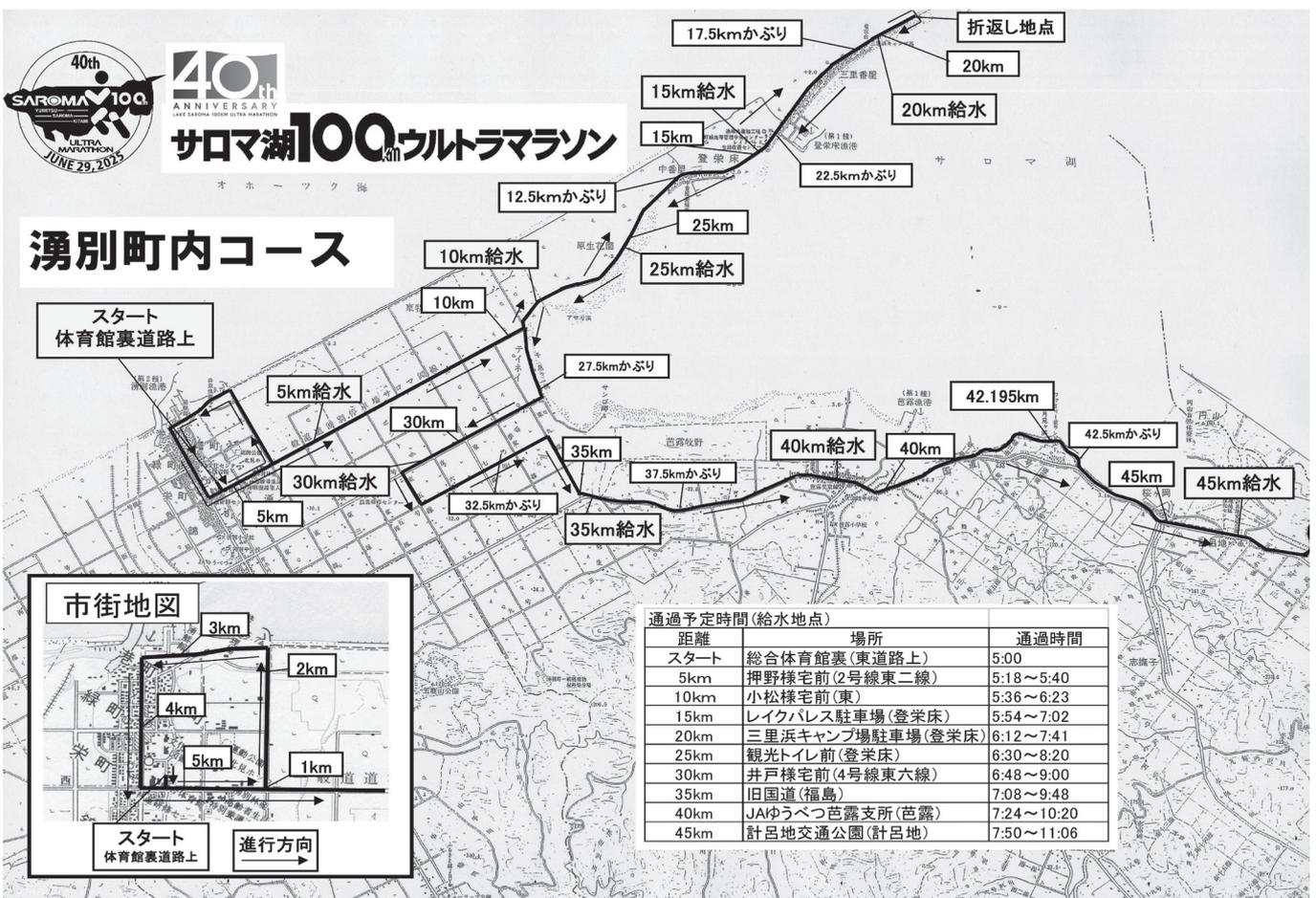
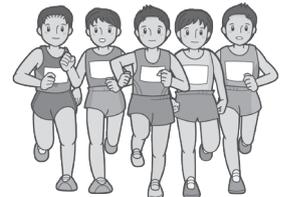


## 【100kmの部】

午前 5時 湧別総合体育館スタート (湧別町～北見市常呂町)

## 【50kmの部】

午前10時 佐呂間町100年広場スタート (佐呂間町～北見市常呂町)



高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう ～高齢者教育推進目標～

## チューリップ生きがい大学 開講式・学生自治会総会

チューリップ生きがい大学の開講式が4月22日、文化センターさざ波で行われました。来賓として因副町長、クラブ講師の谷藤紅山先生、金川貴子先生のご臨席をたまり、新入生20名を迎え65名の学生（全学生108名）が参加しました。

式では、学長の阿部教育長から、「チューリップ生きがい大学はアクティブシニアの皆様が心身共に豊かで、健康な人生を営むための学習機会として設置されています。年間を通じての学習会はもとより、日帰り研修会や研修旅行など、多彩な行事を通じて、楽しく実りある大学生活を送っていただきたいと思います。」と挨拶がありました。開講式後には学生自治会総会も行われ、今年度の具体的な計画が話し合われました。

今年度も、月に1回のペースで講演会や日帰り研修会などの学習を行うほか、研修旅行やクラブ活動で学びと交流を深めていきます。チューリップ生きがい大学では、随時入学を受付けています。仲間づくりや健康維持、さらには皆様の豊かな経験や知識を活かす機会として、町内に住むおおむね60歳以上の方で入学を希望される方は、教育委員会社会教育課（5-3132）へお電話でお問い合わせください。



リレーエッセイ

### スポーツ推進委員さんのある一日 第173回

今回は、スキージャンプのお話をさせていただきます。スキージャンプとは、飛んだ距離を競うのではなく、飛距離をポイントとした飛行距離点とジャンプ・着地の美しさをポイントとして数値化した飛型点、この2つを合計して1回のジャンプの獲得ポイントとしています。選手には2回ジャンプをするチャンスが与えられており、その合計ポイントで勝敗を競います。

昨年の冬シーズン、小学生の息子が下川町のスキージャンプ少年団へ体験入団しました。下川町はスキージャンプの聖地と言われています。多数のオリンピック選手を輩出させていることもあり、子どもの成長に合わせて4台のジャンプ台があります。私も特別に1番小さいジャンプ台を飛ぶことができました。スタート地点に立つと想像以上に高さや角度があり恐怖心を抱きます。怖がってびくびくしている姿を息子には見せたくない！勇気をもって飛びました！結果は…無事着地。一瞬でしたが宙に浮く感覚が楽しかったです！

スポーツ推進委員 水牧 一郎

芸術・文化は未来を生きるヒント 創造力と豊かな心を育てよう ～芸術・文化活動の推進目標～

## ゆうべつ寄席 立川晴の輔・柳亭小痴楽 二人会

良いもの見よう聞こう会主催によるゆうべつ寄席「立川晴の輔・柳亭小痴楽二人会」を開催します。国民的大喜利番組メンバーの立川晴の輔と人気急上昇中の若手実力派の柳亭小痴楽の二人会！圧倒的な話芸で観る者を引き込む、落語界大注目のふたりの共演をお楽しみください！



【立川晴の輔】



©橋 蓮二

【柳亭小痴楽】

【日 時】 8月10日（日）

15時00分開演（開場は30分前）

【会場】 湧別町文化センターさざ波  
（湧別町栄町219番地の1）

【チケット】 6月9日（月）発売

【入場料】 全席自由席

一般 2,000円（当日 500円増） / 高校生以下 1,000円（当日 500円増）

【プレイガイド】 湧別町文化センターさざ波・TOM、遠軽町芸術文化交流プラザ、紋別市民会館  
※直接販売のほか、良いもの見よう聞こう会事務局にて電話予約を受付けします。

【問い合わせ】 良いもの見よう聞こう会事務局（社会教育課内 Tel 01586-5-3132）

【主催】 良いもの見よう聞こう会

【後援】 湧別町教育委員会

【制作協力】 伝統芸能(株)ナカツボ

## 教科書展示会を開催します。

保護者や町民及び教育関係者の皆さんに実際に教科書を手にとってもらい、理解を深めていただくため、現在義務教育学校で使用している教科書の見本を下記のとおり展示いたします。ぜひこの機会にご覧ください。

開催場所	期 間	時 間	備 考
文化センター さざ波ロビー	6月13日（金）～ 6月26日（木）	午前9時～午後10時 （月曜日は午後5時まで）	
中湧別図書館	6月27日（金）～ 7月8日（火）	午前10時～午後6時	休館日 6月30日（月） 7月1日（火） 7月7日（月）

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう ～図書館活動推進目標～

## 中湧別・湧別図書館年間貸し出しランキング

この1年間で最も中湧別・湧別図書館で借りられた小説ベスト3冊を紹介します！まだ読んでいないという方はぜひご覧ください。

## 第1位「ともぐい」著：河崎秋子 貸出回数38回



第1位は「ともぐい」でした。昨年直木賞を受賞し、著者である河崎秋子さんが別海町出身であることも話題になりました。明治後期の北海道を舞台に、熊に全身全霊で挑むある猟師の生き様を描いた物語です。利用者の方々からも「おもしろかった」という声を多数お声がけいただいた1冊です。この本は中湧別・湧別図書館両館で借りることができます。

## 第2位「成瀬は天下を取りに行く」著：宮島未菜 貸出回数29回



第2位は「成瀬は天下を取りに行く」でした。デビュー作にして各ランキングを総なめし、18冠を受賞した超大型新人作家・宮島未菜さんの作品です。ちょっと変わった女の子、成瀬あかりが次々に新たなことに挑戦し、全力で我が道を進んでいく様を描いた物語です。なお、続編も今作に続き2024年ブック・オブ・ザ・イヤー第1位を受賞しています・・・！ぜひご覧ください。この本は中湧別・湧別図書館で借りることができます。

## 第3位「クスノキの女神」著：東野圭吾 貸出回数23回



第3位は「クスノキの女神」でした。累計100万部を突破した大人気「クスノキ」シリーズの最新作です。不思議な言い伝えを持つ神社の1本のクスノキ。そのクスノキを守る番人である青年、玲斗と、クスノキのもとへ祈念に訪れる人々のおりなす物語が描かれています。2026年には映画化も決定している注目の1冊です。この本は中湧別・湧別図書館で借りることができます。

## 中湧別図書館「読み聞かせ会」のお知らせ

【日時】 6月7日(土) 13:30～14:00 6月21日(土) 13:30～14:00  
【場所】 中湧別図書館 おはなしコーナー

## 6月の図書館休館日

6月2日(月)、3日(火)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)

\*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10:00～18:00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。 【貸出期間】 2週間

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150 湧別図書館 電話 5-3122  
lib-n@town.yubetsu.lg.jp lib-y@town.yubetsu.lg.jp

## 博物館シリーズ

「湧別の2つの博物館」

## 国際博物館の日

## 博物館だより

—ふるさと館JRY・郷土館—

【184号】

5月18日は「国際博物館の日」です。博物館が社会に果たす役割を広く普及啓発することを目的として、ICOM（国際博物館会議）によって昭和52年（1977年）に制定されました。今回はこの日にちなみ、湧別にある2つの博物館「ふるさと館JRY」と「郷土館」を注目資料と共にご紹介します。



ふるさと館JRY

ふるさと館JRYは屯田兵の入植100年を記念して建てられた博物館です。（上段左写真：平成8年8月1日開館）

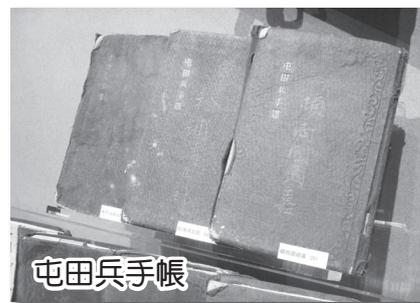
博物館に収蔵・展示されている資料は、明治30・31年の屯田兵入植やその後の開拓に関する道具及び文書が中心で、町の開拓の歩みを知ることができます。

屯田兵に関する資料の中で重要なものの一つが「屯田兵手帳」です。（中段写真）軍人勅諭のほか、住所・生年月日・出生地・身長、支給された扶助米等が記載されています。入植した399名の内、10名分の手帳が保存されています。

郷土館は湧別地区の郷土史を紹介するために建てられた博物館です。（下段左写真：昭和50年11月30日開館）

収蔵・展示されている資料は、遺跡から出土した考古資料や動物のはく製が多いことが特徴です。

考古資料の中で重要なものは、湧別市川遺跡から出土した「石製装身具」です。（下段右写真）縄文文化早期（約9,000年前）のもので、上部にある穴にひもを通しネックレス等の一部として使用されたと考えられています。



屯田兵手帳



郷土館



石製装身具

左：長さ3.4cm

右：長さ7.1cm

どちらの施設も、湧別の歴史を知ることができる地域に根ざした博物館です。両施設とも町民無料なのでお気軽にご利用ください。

【開館時間】 9時00分から16時30分まで  
（入館は16時まで）

【休館日】 月曜日（祝日は開館）  
年未年始（12月30日から1月4日）

## 湧別町生涯学習情報「湧く湧く」 2025年5月号 No.184

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町219-1  
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…林印刷所（中湧別北町）発行…令和7年5月26日

記事へのお問合せは下記へ

\*社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710  
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

\*湧別図書館……………電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256

\*中湧別図書館……………電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190

\*ふるさと館JRY……………電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200